

経和会会報

発行 埼玉大学経済学部同窓会 経和会会長 田坂 敏幸 / 編集 広報委員長 古屋 久昭
さいたま市桜区下大久保255番地 TEL 048-858-9218 (印刷:望月印刷(株))

経和会ホームページをご利用ください

URL <http://www.keiwakai.net> メール webmanager@keiwakai.net

学部長就任にあたって

埼玉大学経済学部 学部長 薄井 和夫



このたび、埼玉大学経済学部の学部長・経済科学研究科の研究科長という重責を担うことになりました。責任の重さを日々かみしめております。

私は、一九八二年に経済学部にて赴任致しましたので、もうかれこれ三〇年ほどを埼玉大学経済学部とともに過ごして参りました。いつも「若手」のつもりで参りましたが、いつの間にかその範疇を外れていることに気がつかされました。この間、経済学部も、全国的な大学改革の流れに呼応し、様々な自己改革を行なうて参りました。なかでも、学部の夜間主コースと、博士前期(修士)課程および博士後期課程の社会人大学院を整備し、学部から博士課程にいたる社会人のための一貫した教育を提供できるようになったことは、全国的にみても希な、われわれの誇るべき特徴であると考えております。

企業活動でも、高等教育でも、グローバル化は否応なく進展しており、世界のなかで存在感を示すことのできる日本人の育成は、わが国の将来を占う大きな課題であると認識しております。すでに、経済学部では、タイ王国の名門チュラロンコン

大学と提携し、毎年、「タイ事情II」の科目で、学生が英文で共同論文を執筆し、タイで現地の学生とディベートを行なうという講義を行なうて参りましたし、海外から少なからぬ留学生を受け入れても参りましたが、自ら海外の大学へ出て勉強してこようという学生は、まだ少数にとどまっているというのが実情です。このことには、費用の問題や、年々厳しさを増し長期化する「就活」の問題など、様々な要素が関連しています。経済学部としては、学生が海外で学ぶことを促進する環境を整備し、教育と研究の国際化を推進して参りたいと考えております。

平成24年度 経和会総会の ご案内

一 日時 平成24年7月14日(土)
 ● 総会…13時(受付開始12時30分)
 ● 講演…14時
 ● 懇親会…15時30分~17時

二 場所 東京駅サピアタワー6階
 東京ステーションコンファレンス
 埼玉大学東京ステーションカレッジのあるビルです。

住所 千代田区丸の内一七-十二
 サピアタワー6階
 東京ステーションコンファレンス

三 演題 「Suica」が世界を変える
 —新しい社会インフラ創造への挑戦—

所属 JR東日本メカトロニクス株式会社
 代表取締役 副社長
 氏名 椎橋 章夫(しいばし あきお)
 学歴 1976年3月 埼玉大学 工学部卒業
 2006年12月 東京工業大学博士課程卒業 工学博士

※「Suica」開発の中心メンバーとしてNHK「プロジェクトX」に出演、トX」に出演、現在に至る

四 懇親会会費 7,000円 (現役学生・院生は無料です)

五 交通手段
 ● JR東京駅 新幹線専用改札口(日本橋)より徒歩1分
 ● 八重洲北口改札口より徒歩2分
 ● 東京メトロ東西線大手町駅より徒歩1分

六 出欠 6月29日(金)までに、同封の「はがき」にてお申し込みください。

会費未納問題について



経和会長 田坂 敏幸（昭和47年卒）

東日本大震災から復興の槌音が聞こえ、東北地方にも明るい兆しが見え始めましたが、同窓生の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

昭和58年2月に発足した経和会は来年で30周年を迎えます。

卒業生の数も1万人を突破し、皆様一流企業や官公庁で重要なポストにつかれています。公認会計士や税理士の道を進まれている方など、まさに国立大学の名に恥じない活躍をされています。

経和会はまだ会報を発行して15年を迎えるに過ぎませんが、その間、大学の状況をお知らせし、会員相互の情報交換のきっかけを作り、学生会員の就職のお世話をして参りました。これも偏に会員の皆様のご協力の御陰だと心より感謝している次第です。

一方、財政面では毎年、新入生からの終身会費を主な財源として運営を続けてきておりますが、ここ数年日本経済の低迷や学生の価値観の多様化などの影響もあり、会費納入率が低下しつつあります。単年度では赤字になった年も出てきています。この状況は埼玉大学の他学部同窓会も同様な傾向にあります。

学生および保護者に対する納付のお願いもここ2年積極的に行なっておりますが、一方で会員数の増大に伴い支出の増

大が財政を逼迫させてきており、本格的な財政の見直しを求められているのが現状です。

つきましては今年度からの3カ年計画として、会費未納の卒業生の方々から一人でも多く会費を納入いただけるよう取り組んでいきたいと考えております。会費納入会員と未納会員との差別化も必要ではないかとの声も多くあります。

また、他学部にも目を転じますと、文系学部はすでに差別化を図っているところと来年から実施するところがあります。理工系同窓会は学科同窓会が中心であり、ホームページ上のみで会報をお知らせしているところなど様々ですが、どの同窓会も会費徴収については頭を悩ませているのが現状です。

- 具体案の主なポイントは
1. 引き続き新入生を中心に年3回程度の納付依頼を行い、納付率を上げる。
 2. 来年度、会報送付時に会費未納の卒業生には、次年度より送付を取りやめるか否かはがきにて確認を行う。卒業後30年以上を経た卒業生を対象とする。
 3. 会費未納者には全員引き続き会報に振込用紙を同封する。
 4. ホームカミングデイ、交流会参加や同期会開催を呼びかけていく。
- 以上、経和会の財政再建策について紙面をお借りいたしましたので考えを述べさせていただきますようお願いします。

就職支援セミナー

保護者の皆さま向け就職支援セミナーを実施しました

経和会では、在学生の就職活動を支援する一環として、3年生の保護者の皆さま向けに、「就職支援セミナー」を11月5日に実施しました。昨今の厳しい就職状況を反映して、85名の方が参加されました。遠くは、北海道、長崎、宮崎からご夫婦で参加されており、就職問題が本人のみならず、保護者の方にとっても非常に大きな課題になっていることが窺われました。

セミナーの内容は、①最近の就職状況、②最近の就職活動の流れ、③保護者に期待されること・果たすべき役割、から構成されています。「ES（エントリーシート）、オープンセミナー、内定」、といった言葉の説明から始まり、「経済学部生の就職状況」、「企業から見た埼玉大生」、「親の責任として言わねばならないこと、言ってはいけないこと」、などについて、経和会メンバーが今までの体験を踏まえて1時間30分にわたって説明しました。参加者は熱心にメモを取り、積極的に質問されていました。

さらに希望者には個人面談も実施され、それぞれが抱えている課題や質問に対してアドバイスやコメントがなされました。

なお、当日はむつめ祭が行われていましたので、保護者の方も最近の大学祭を楽しみ、大学生活の一端に触られたことと思います。



名簿案内

「経和会会員名簿第4号」が9年ぶりに一昨年10月に刊行されました。

会員名簿は氏名、住所のほか勤務先、出身校や会員索引、勤務先一覧などがあり、大変充実しています。是非、ご購入下さい。

また、終身会費を納めた学生の皆さんには無償でお配りしております。就職活動にも大いに活用ください。

申し込み：経和会郵貯銀行口座へのお振込みにて申し込み完了です。

頒布金額：3,000円

□ 座名：埼玉大学経済学部経和会 00500-4-22605 なお、会員名簿購入代とご記載ください。着金次第、送付いたします。送料は経和会負担です。



平成24年3月卒の就職状況

3月に卒業した234名の就職状況は下記のとおりであるが、例年と同様、公務員および金融業界への就職率が高く、公務員43名、金融59名となっている。公務員ではUターンが多く、埼玉、東京を除く地方市役所に17名が就職しているが埼玉県庁は今年も就職ゼロである。

一方、金融では全国ブランドの金融機関が少なく、地方金融機関へ15名が決まっている。また、製造業では食品や医薬品が増えるものの一般製造業は今年も多くはなかった。全体的に就職難を反映して中小への就職が多く、ほとんどが1名のみでの就職である。今の埼玉大生は堅実というのか、学部が目指している国際化にはかけ離れた就職の実態である。また、大学院進学は10名と多く、しかも埼玉大学経済科学研究科に3名が進学した。なお、夜間主を含む卒業生約330名との差、約100名は把握できていない。

平成24年3月卒 主な内定先リスト (平成24年3月19日現在)

公務員 43

- さいたま市 4
- 国税局関係 4
- 東京都 3
- 東京都特別区 4
- 警視庁 2
- 埼玉県警 1
- 県庁(長野、栃木、山形、長崎) 4
- 地方市役所(埼玉・東京を除く) 17

金融 59

- りそなグループ 6

- 三菱東京UFJ
- フィナンシャル 2
- 日本政策金融公庫
- ゆうちょ銀行 1
- 地方金融機関 15
- SMBC日興証券 3
- 岡三証券 2
- 大和証券 1
- 楽天証券 1
- 三井住友海上 1
- 損保ジャパン 1
- あいおいニッセイ 同和損保 1

- 明治安田生命 1
- 住友生命 1
- 富国生命 1
- ソニー生命 1
- アメリカンファミリー生命 1
- 三菱UFJリース 1
- 製造業**
- 雪印メグミルク 1
- 明治・東京支店 1
- テルモ 1
- ノルバティスファーマ 1
- 佐藤製菓 1

- 日医工 1
- 久光製薬 1
- 伊藤ハム 1
- 中村屋 1
- JX日鉱日石金属 1
- 日本軽金属 1
- サービス**
- 東京電力 1
- ベルーナ 1
- リクルートHRマーケティング 1
- ベネッセ 1
- プリンスホテルファミリーマート 1

- JFE物流 1
- 澁澤倉庫 1
- ANA WINGS 1
- 三菱商事フィナンシャルサービス 1
- 毎日コミュニケーションズ 1
- 会計事務所関係 4**
- 大学院進学 10**
- 埼玉3、一橋2、パーミンガム、パリ経営、明治、明星、東京工業の各大学院

就職活動体験記



東日本電信電話株式会社
経済学部 経営学科
田中 佳佑



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
経済学部 社会環境設計学科卒業
児玉実可子

結局は個人の頑張り次第。よく就活に関しては、縁や運などと言いますが、スポーツと同じ理屈です。練習した分だけ成果は出ます。怒涛のように迫りくるESや面接、そして落選：ストレスフルな状態が続ぎ、自分自身逃げたい、と思うこともありました。そんな「もういいかな」って逃げたくなる時に踏ん張れるかに尽きると思います。就活生に伝えるとすれば、常にこれでいいの？と自問しながら取り組んで欲しい。正当化という名の逃げをして現状に目を背ける就活生が多いです。妥協した経験は心に刻まれ、今後の自分を縛るものになります。最後まで頑張り抜いてください。必ず結果は出ます。

就職活動が本格化する大学3年の冬まで、できることなら就活なんてしたくないと思っていました。リクルースーツに身を包み、何十社もの説明会に参加する自分の姿を想像すると、気が重くなったのを覚えています。それでもやるしかないと思いをくぐり、一生懸命エントリーシートを書き、何度も面接を受けに行きました。そして5カ月後、初めて内定を頂いた時は叫びたいくらい嬉しかったです。就職活動は、やるもやらぬも、数ある会社からどこを選び、受けるかも自分次第。だからこそ、戸惑うことや、友人と比較して不安になることもありました。しかし、スケジューリング管理も含め、自分で選択・決断し行動する力を身につけることのできる貴重な経験になったと思います。また、就活は個人戦ですが、辛いとき元気をくれる友人や家族のありがたみを実感することもできました。

「内定はゴールじゃない」とよく言います。就職活動をしたのは、これからの自分自身のためです。学生を卒業して、元気に社会人のスタートを切れることに感謝し、4月から精一杯頑張りたいと思います。



23年度 優秀演習 論文表彰	最優秀論文(経済学会賞)	永井 敬士「夫婦別姓の憲法学的考察」
	優秀論文(経和会賞)	大澤 笙子「現代中国農村女性の就業実態」
		岡田 光良「銀行国有化の基準に関する分析」
		蔡 玉成「中国人民銀行の金融政策(その目的・手段・運営)」
		田中 雄基「日本と中国における再生資源貿易」

埼玉次世代自動車環境関連技術イノベーション創出センターが設置されました

埼玉大学、埼玉県、(社)埼玉県経営者協会、及びさいたま市が提案中核機関となり、地域産学官共同研究拠点として「埼玉次世代自動車環境関連技術イノベーション創出センター」が設置されました。本センターでは、埼玉地域の自動車産業を次世代自動車対応の産業に変革することを目指し、電気自動車（EV）を中心として、ハイブリッド車（HV）、プラグインハイブリッド車（PHV）など、次世代自動車関連基盤技術開発のための産学官共同研究等を行っています。



埼玉大学研究紹介フェアが開催されました

本年3月16日大学構内において、企業、高校生を含む一般市民を対象に、埼玉大学研究紹介フェアが開催されました。経済学部では、伊藤修経済学部長（当時）が「山一証券破綻の教訓―「100年史」を編纂して―」の題目で講演されました。

今年度も埼玉大学生が知事に政策提言をしました



本年1月18日に昨年に続き知事に政策提言をする「知事と学生の意見交換会」を開催しました。経済学部2・3年生63人がゼミ単位で取り組み、昨年7月には県の担当課職員による出前講座を受講し、その後、生活保護受給家庭の子供に対する学習支援現場の訪問や、「いきがい大学」に通う高齢者へのインタビューなどの現地調査を通じて、政策研究に努めました。

将棋部 第26回全国オール将棋選手権・団体戦で優勝しました

埼玉大学将棋部が、昨年9月4日に川崎市民プラザで開催された第26回全国オール将棋選手権・団体戦で優勝しました。優勝：埼玉大学、準優勝：一橋大学、3位：東京大学

東日本大震災の被害状況やその後の対応について

昨年の3月11日東日本大震災の際、書棚の本が一部落ちたなどの被害がありましたが、大きな被害には至りませんでした。今回の震災を教訓に埼玉大学では、学生向けに定期入れサイズの地震対応マニュアルを作成し配布するなど、地震関係のマニュアルを整備しました。

また、さいたま市との協定により総合体育館は、さいたま市の避難所として指定されています。



倒れた書棚

シンポジウム「福島はいま…。」を開催しました

昨年10月12日に埼玉大学経済学部、遠藤・金井ゼミ主催によるシンポジウム「福島はいま…。3.11をきっかけに考える人間生活―福島県農家菅野正寿さんから見た原発事故―」が開催されました。

埼玉大学 NOW

東日本大震災、 あの時埼玉大生は、



2011年3月11日からもう一年が経つ。今も東北地方では復興作業が続いている。あの日、埼玉でも震度4から5の強い揺れがあった。埼玉大生は春休み中で、学内にいた学生は少ないと思うが、それぞれが様々な被害を

受けた。地下鉄の中で閉じ込められてしまった学生や、家の食器がすべて割れてしまったという話も多く聞いた。また、さいたま市は計画停電の対象地域でもあったため、真っ暗な夜を過ごすのが不安な学生同士で集まって過ごす姿もあった。節電のために冷房をあまり使わないようにするなどそれぞれ工夫して生活していたように思う。

埼玉大は東北から来ている学生が多いこともあり、大学生協の募金額が日本一であったことには驚いた。他大学と比べても桁が一つ多く、それだけ地震への関心が高かったことが窺える。

講義で連累という言葉を紹介していたのだがここで紹介させていたいただきたい。過去の出来事に対する責任のとり方で大事なものは「切り離さない・無関心にならない・忘れない」ことだという考え方である。責任とは少し異なるが、今回の地震についても当てはまるのではないだろうか。

サークル紹介

ミュージカルサークル 桃犬は、埼玉大学の学生を中心に多くの学生が集まって活動しています。

主な活動内容としては、地域の公民館から依頼を受け、公演を行なっています。昨年度は、震災へのチャリティ公演を行なったたり、ワークショップを開催して地域の子ども達にミュージカルに触れてもらい、また、一緒に公演するというような活動も行いました。今後、活動の幅を限ることなく、クリエイティブな活動を模索していくつもりです。



むつめ祭 開催報告

昨年11月3日から5日までの3日間、むつめ祭が開催された。今年も天候にも恵まれ、多くの方に来場いただき、盛況のうちを終えることができました。

むつめ祭の目玉企画ともなりつつあるミス埼玉大コンテストも今年は150インチのモニターを導入し、華々しく開催できました。結果は教養学部3年の谷口穂さんがグランプリとなりました。

来年度のミスは一体誰が選ばれるのでしょうか。皆様のご来場を楽しみにしております。

埼玉大学アカペラサークルCHOCOCOLETZです！私たちは年に5回のサークルライブ（春、夏、新人、むつめ、冬）と県内、都内などのイベントなどで主に活動しています！現在創設16年を迎え、100名を超えるサークル員が所属しています。アカペラだけでなく、夏合宿なども行い、学年問わず仲良く活動しています！



同期会だより

34年同期会

確井 良明

昭和30年4月から4年間、J.R.京浜東北線の北浦和駅前の旧制浦和高校の跡地（現在は公園）にあった木造校舎で学んだ文理学部文科（当時）の仲間（法律40名、経済33名、英独仏国文20名）は、毎年7月に同期会を開催、毎回20名前後が各地から参集する。わが年次は、法律専攻コースの最後の年にあたり、法律専攻生が多いのが特徴。この写真は、卒業52周年にあたる平成23年7月の開催時に撮影

写真撮影：勝間田鉄一



したものである。今や、多くの同期生が喜寿を迎える年齢となり、弁護士二人を除き殆どが現役を退き、悠々自適の生活を送っている。久しぶりに会えば、学生時代の童顔？に戻り、往時を偲んで賑やかに旧交を温めている。

三菱東京UFJ銀行経和会

穂原 康雄 昭和47年卒

歳を経てくると昔の想い出は懐かしい。辛かったことも悔しかったこともすべて今の自分に受け入れることができる。ましてや同じ大学を卒業して同じ会社で苦勞して来た者同士にとって、同じ部署で働いていなかったとしても、今まで顔を合わせていなかったとしても、歳が離れていても、あつという間に仲間になり、過去の仕事の苦勞も共有することができるとができる。

2月15日に埼玉大学出身で三菱東京UFJ銀行に勤務していた人たちの懇親会「三菱東京UFJ銀行経和会」が開催されました。年長者は昭和43年卒



三菱東京UFJ銀行経和会のメンバー

から今も現役の62年卒まで一堂に会して、学生時代のゼミの思い出、クラブの思い出、そして今の悠々自適の日々の趣味の話など、時間が過ぎるのを忘れて、語り合いました。ある先輩はグループ会社の社員の結婚の橋渡しするカウンセラーとして活躍し、ある先輩はフルートを趣味として髭を撫ぜながら敬老ホーム慰問を行うなど、いまだに第二・第三の人生を楽しんでおられます。自分もこのまま老いるわけにはい

かないぞ、と心を奮い立たされる充実した時間も味わわせていただきました。三菱東京UFJ銀行に勤務していた（している）埼玉大学出身のOBや現役員は多くはなく、それだけ苦勞を共有し合える「三菱東京UFJ銀行経和会」の意義も大きいと思っています。

むつめゴルフ会

出口 雅史 平成12年卒

2011年11月11日(金)に森林公園ゴルフ倶楽部で開催された「むつめゴルフ会」は28人が参加し、6回目の開催で初めて5学部全ての卒業生が揃いました。

今回はあいにくの秋雨が降る中で行

われましたが、参加者の半数がクロス100を切るハイレベルな戦いが繰り広げられました。

優勝は、昭和38年経済学部卒業の松村雄さんでクロス85。2位に昭和45年工学部卒業の内田仁徳さん、3位には昭和47年経済学部卒業の鈴木均さんが入りました。

今年、11月21日(水)に大宮国際カントリークラブで開催する予定です。詳細については、facebook専用ページ「埼玉大学OBによるむつめゴルフ会」で検索するか、幹事の大崎鼎さん（昭和45年経済学部卒）kohnsaki@orion3.co.jp までご連絡ください。

参加者(順不同)：内藤勝久、橋本養平、杵鞭弘恭、手嶋毅、小林千秋、出口雅史、松村雄、鈴木均、石田肇、小池登、諏訪村博行、太田博、竹内洋、萩野弘二、細越博資、大崎鼎(以上経

済学部卒)、高橋令幸(理学部卒)、関根増男、寺内慎一、井手博(以上教養学部卒)、大西利樹、大倉忠博、服部明、中川隆夫、内田仁徳、奥山哲夫(以上工学部卒)、松村秀、小熊俊正(以上教育学部卒)

書籍紹介コーナー

中村直行著

「笑い生きる意欲」(名著出版)

同氏は経済学部卒業後、東京大学大学院で統合医療情報学を学び、この本の中で免疫力を高めるには笑いが効果的と紹介しています。副題「開運 笑いという名の処方箋」が付けられテレビ「笑点」でおなじみの噺家・三遊亭小遊三師匠との対談でユーモアたっぷりの一冊です。

同氏は永年経和会副会長として同窓会活動にもご尽力されました。



私の交流録



萩野 弘二
昭和45年卒
(株)クレハ専務執行役員兼
クレハアメリカ代表取締役社長

私は昭和41年に経済学部に入學し、大学紛争のさ中ではありましたが昭和45年に留年もせず卒業しました。卒業以来40有余年経つわけですが今に至るまで交遊が続いているのは茶道研究会（お茶研と呼んでいました）の仲間です。私の、純粹に日本文化の粹を究めようと入会した動機にうそ偽りはなく、女性が多そうだからというよこしまな考えも毛頭ありませんでした。当時の経済学部は下大久保に移転する前で、北浦和駅と浦和駅の間の旧埼玉師範の校舎を使っておりそこに部室もあったため経済学部の男性数人も含め男性会員のほうが多かった時代でした。サークルのいいところは前後3-4年の年代、学部も文系、理系入り交じる多様さにあり、それが卒業後の交流も長続きさせるのでしょ



昭和41.2年頃円覚寺合宿にて

か。私の入会の動機はさておき、お点前のひとつも覚えずもっぱら合宿、旅行、宴会等の要員で4年もいたのに会活動に何

の寄与もできず忸怩たる思いが今でも残ります。そのような中で楽しい思い出として残るのは2年連続での鎌倉の円覚寺の合宿でした。朝の座禅、皆で交替の自炊、いろんな議論をしたこと、今でも鎌倉へ行くとき遠い昨日のように思い出します。



三井住友銀行
日本橋東支店長
大島 律雄
昭和62年3月卒

私が埼玉大学に入學したのは昭和58年。

現在の学長である上井ゼミでお世話になり何とか卒業できました。こんなことを言う先生方に怒られてしましますが、学習塾や家庭教師のアルバイトに明け暮れており授業はあまり出なかつたような気がします。大学3年生の後半から就職活動を始め、埼玉大学出身の先輩方に無理を言つて面接して頂き、職場の様子や面接のポイントなどを教わつたことが、就職活動に活かされました。就職1年目はリクルーターとして後輩の皆さんの一次面接などを担当したものの、当行での埼玉大学出身者が少なかったこともあり、学生やOBとの交流がないまま20年余りが経過しました。昨年、支店の新入社員から同期に埼玉大学出身者がいると聞いて会食し、埼玉大学の現在の様子などを聞いて、急に懐かしくなりました。ここ数年來、埼玉大学から当行にほとんど就職していないとのことで、後輩の皆さんの就職活動の役に立てないかと考えております。当行での埼玉大学出身者を探して情報交換し、当行と埼玉大学とのパイプ作りに努めたいと思います。

恩師からの便り

近況報告

名誉教授 山田 稔

小生、埼玉大学に20年間勤務いたしました。これほど良心的な組織体は、他には類をみないものと思っております。良心的な大学に勤務していたことを誇りに思います。また、他に例のない良心的な大学を卒業された皆様方は大変、好運であったのではないかと存じます。

ついでです。

現在は労務管理論の研究は止めて、もっぱら音楽鑑賞に熱意をかたむけております。

終わりにのぞみ、皆様方のご健康とご活躍をお祈りいたします。

私の近況

名誉教授 山口 達良

平成19年10月と同年12月に、私は米国ロード・アイランド州プロビデンスにあるブラウン大学を視察することができた。

そこでは、昭和43年当時。私の担当する講義を履修した卒業生の安原明夫氏が教授として経済学を教えている安原氏は、私の授業で強い影響を受け、米国での勉強への指向のきつかけとなつたとされている。

安原氏は昭和48年秋に渡米し、幾多の困難、とくに悪性の癌を克服して懸命に努力し、今日に至っている。安原氏の岳父は私の陸軍幼年学校時代の恩師と昵懇の間柄にあり、私に書簡を寄せられたことがある。

平成20年11月に秋の叙勲で私は瑞宝中綬章を授与されている。

学生時代のこと

平成2年卒業 貝山ゼミ

北村 善彦

大学で過ごした四年間は、白球を追う日々であった。

現在は関甲新学生野球リーグ(2部)に所属する埼玉大学硬式野球部だが、私が在学していた当時は所属するリーグもなく、春の全日本大学野球選手権に出場するには「無所属」チーム(「東部地区」と称していたようです)によるトーナメント方式で代表を決定していた。全国への道は険しく遠いものであったが、ひたすら勝ち続けて神宮へ行くことを夢見ていた。何しろ、埼玉硬式野球部は、かつて大学選手権に駒を進めたこともあるのだから(昭和54年第28回大会)、可能性がないとは言えないのです。2回目の出場を目指して、日々充実していたことを思い出す。

私が貝山道博先生のゼミを選んだのは、硬式野球部の3期先輩であるSさんが所属していたからだ。Sさんは、大学に入ってから硬式野球を始めるといふかなり「無謀」な選択をされた方だが、学業と部活動を両立し、卒業後は某大手S銀行に就職した大変優秀な方だ。私はその方の「後釜」として貝山ゼミに入ってしまったのだが、私の学業は遅々として上達しなかったため、ゼミの演習中の発言には、学術的要素より娯楽的要素を求められた(ような気がする)。

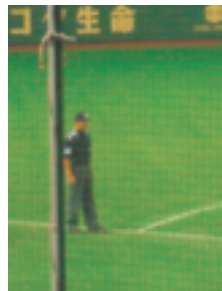
当時、まだ若く、皇太子殿下(当時。現在の天皇陛下)を思わせる品格にミスター(長嶋茂雄)並みのヒゲを蓄えた風貌の貝山先生は、我々ゼミ生に常に冷静に経済分析を説いていたが、全身から発する熱いオーラは常に我々を圧倒し、ゼミ室でも、軽井沢の合宿中も、講義後の酒席でも、常に冷静に熱弁を奮っていた。先生とゼミの仲間で過ごす時間の多くは酒とビールの日々であったが、先生は、学問に必要なもの

のは「熱き心」と「冷静な頭脳」であることを常に説かれていた。

研究者としてはもちろん、一人の人間としても熱き一流である貝山先生と、パブル景気の世間を尻目に、ひたすら勉学に勤しんだ(と思われる)貝山ゼミの仲間たちと過ごした日々は、私のこれまでの人生の中でも珠玉のひとつである。あの頃から今日まで、まなじりきりりと吊り上げて、恩師に一步でも近づきたいと日々奮闘しているが、努力の甲斐もなく、未だ足元にも及ばない。今日も涙の日が暮れるのだ。

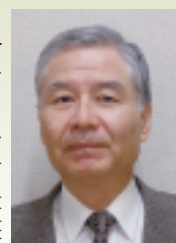
学生時代に夢見た大学選手権には、その後、幸運にも審判員として出場する機会を得ることができた。社会人野球最高の舞台である都市対抗野球では、東京ドームという大舞台にも立つこともできた。休日に家を空けることも多く、妻の冷たい視線を感じる日常であったが、都市対抗に出場した時には、家族や妻の両親が観戦してくれた。以来、妻の視線は少しだけ穏やかになった。お世話になったすべての人たちに感謝である。

審判員にとって大切なもの、それは試合を引っ張る『熱き心』と判定を下すときの『冷静な頭脳』である。それは、学生であった在りし日に、恩師から学んだことだ。



平本一郎さんが(株)テレビ埼玉代表取締役社長に就任
経済学部卒業(昭和53年3月)の平本一郎さんが、平成23年6月に株式会社テレビ埼玉代表取締役社長に就任しました。

(株)インターネット代表取締役会長の池田典義さんが藍綬褒章を受章
文理学部卒業(昭和38年3月)の株式会社インターネット代表取締役会長の池田典義さんが、平成23年秋の藍綬褒章を受章しました。



退任挨拶

本城 昇

今年3月で埼玉大学を定年退職いたします。経和会の皆様には就職支援などで大変お世話になりました。深くお礼申し上げます。

経済学部教員として、就職支援担当を約8年間にわたって担当させていただきました。前職が霞ヶ関の行政官でしたので、自らお願いして就職支援を継続して担当させていただきました。振り返りますと、法人化してから、就職支援活動も格段に充実してきました。経済学部でも、法人化前から学内公務員講座の開設に立ち会い、その後、運営改善に努めてきました。講座を決して専門学校に丸投げしないの方針で、詰め込みスケジュールとせず、クラスリーダーを設け、ホームルームを開催し、学生の必要とする確かな情報の提供を行う等の種々の改善を図ってきました。その結果、1学年300名余りの経済学部学生のうち、毎年50名程度の公務員職場への就職者を輩出するまでになり、一定の成果を収めることができました。とはいえ、民間企業への就職活動支援は、まだまだの段階です。今後とも経和会の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

埼玉大学発のオリジナル日本酒

埼玉大学地域イノベーションセンター内に設置されている埼玉大学産学官協議会「醸造酒研究会」は、お酒に関わる種々の調査、研究を通して、お酒の歴史・文化的側面を含めた広い理解を深め、教育と健全な社会の発展に寄与することを目指して設立されました。この研究会によって埼玉大学発オリジナル日本酒が開発されました。



同窓会は埼玉大学東日本大震災緊急支援奨学金へ寄附を行いました。

埼玉大学では今回の大震災について、被災された埼玉大学生を救おうと経済的な緊急支援として緊急支援奨学金を創設しました。埼玉大学が学生の入学金・授業料免除などの支援を行う一方、この奨学金は学生生活を補助する目的で、一人15万円ほどを100名近い当該学生へ給付いたしました。

同窓会連合会および経和会ははじめ全学部同窓会も大学の趣旨に賛同し、大学へ総枠で100万円の寄附を行いました。原資は同窓会連合会の資金から拠出しました。また、卒業生個人で寄附をされた皆さまには心より感謝申し上げます。

編集後記

この度経和会会報は第15号の発行となりました。今後卒業生が増え続ける中で活躍される方や定年を迎える方も増えるため、同窓会や同期会の集まりが活発になると思われます。

その中から、少しでも多くの方々に会報に登場して頂きたいので、お気軽に情報を提供いただければ幸いです。